

第七次只見町振興計画の策定にあたり



日本でも有数の豪雪地帯である只見町には、世界に誇れる広大なブナの原生林や守るべき希少な動植物が多く存在しています。これらの豊かな自然環境の中で、私たちは地域資源の恵みを受けながら、それぞれが受け継ぎ、支え合いながら、暮らしと文化を育んできました。

現在、我が国は急速な少子高齢化と人口減少が大きな問題となっており、この只見町においても、どのようにこの地域を維持・発展をさせていくかが重要な課題となっております。

従前の第六次只見町振興計画においては、～ブナと生きるまち 雪と暮らすまち「奥会津只見の挑戦 真の地域価値観の創造」～を理念に掲げ、日本の自然の中心地は只見という「自然首都・只見」を宣言し、これまでの都市部を追随するような地域振興とは決別し、守り育てられてきた町の自然やそれをよりどころとして育まれた歴史・文化・産業などを活かした町づくりを進めてきました。その成果として、平成26年6月12日には「只見ユネスコエコパーク」への登録が決定し、今後のまちづくりにおいて大きな意義をもつものとなりました。

この第七次只見町振興計画の理念は、～ブナと生きるまち 雪と暮らすまち 心豊かに生きるまち 自然首都・只見の挑戦「人と自然の共生」～です。これは、これまでに培われてきた様々な基盤を礎として、私たちの生活に新たな心の豊かさを求め、次の世代へ守り伝えていくために挑戦を続けていくものです。そして、ユネスコエコパークの理念である「人と自然の共生」を保ちながら、持続可能な地域の発展を目指すものであります。

今回の計画書には、計画策定の会議の中で携わった専門部員の皆様からいただいた、“只見町の10年後の将来像「夢」”を巻末に掲載させていただきました。この町の将来像「夢」の実現に向かって、皆さまと手を取りあって各種事業へ取り組む考えであります。

結びに、振興計画策定にあたり熱心にご協議いただきました振興計画審議委員並びに振興計画専門部員の方々をはじめ、住民の皆様、議会議員の皆様にご心からお礼申し上げますとともに、計画実現に向け、住民の皆様をはじめ、国、県、関係団体等のより一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

平成28年3月

只見町長 目黒吉久